

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス松本教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 10日		～ 令和8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 20日		～ 令和8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎回保護者様に支援場面を見ていただけるため、療育後のフィードバックで日頃のお子さんの様子や気になる姿について直接お話しを伺い、情報の共有や、共通理解が図れる点	・保護者様と同じ方向を向き、支援方法を一緒に考えたり成長を喜んだりできるよう、フィードバックでは、日々のご家庭や園での様子を伺いながら、取り組みの結果だけでなくその過程におけるお子さんの反応の細かな変化や頑張りをお伝えするようにしている。	・フィードバック時以外にも気軽に話し合いやすい雰囲気づくりや関係づくりを目指す。また、ご要望に応じて保育園や幼稚園をはじめとする通所園への訪問など、お子さまの成長を各機関とも連携をとりながら支援していく。
2	・契約時や個別支援計画の説明を丁寧に行っている点	・保護者様が気になる利用料金の説明やサービスの説明を丁寧にいき、安心して通っていただけるよう対応している。個別支援計画に関しては保護者様と事業所が協力してお子様の成長をまた、各関係機関とも支援会議等で情報共有をし、支援につなげるよう子育て支援にも重点をおいて目標を設定している。	・契約時だけでなく、「関係機関連携」や「家族支援」については必要なタイミングでお声がけをし、利用を促していく。また、どの職員に聞いても適切な説明ができるよう職員間の研修を実施していく。
3	・通所の児童発達支援と併用していただけるので、各機関とより密に連携をとることができる点	・保護者様からのニーズに応じて、担任の先生の見学、保護者様から園や併用先での様子を伺い、情報共有を行っている。また、各関係機関とも支援会議等で情報共有をし、支援につなげている。	・様々な視点から気づきが得られるように、指導員を担当制にせず、細かいところまで共有し支援につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や地域と活動する機会がないこと	・地域との交流に関して、ご利用者様や地域の方々のニーズの把握が出来ておらず、活動内容が定まらない。	・定期的に保育園、幼稚園、各施設にパンフレット配布など直接ご挨拶にお伺いし、連携に努めていく。
2	・食事や排せつなど、生活動作訓練の実施が難しい点	・1時間の個別療育のため、生活動作を伴う支援に限りがありますが、可能な範囲で生活動作訓練ができるように、個別支援計画に導入しながら取り組んでいる。	・生活に必要な動作の部分的訓練においては、支援を継続していく。また、保育園や幼稚園などの集団生活に属していないお子様に対しては、必要となる生活動作の獲得に向け、日中支援型の事業所などをご案内している。
3	・職員の人員不足	・入社研修やレッスンに入る中で、入社前にイメージしていた業務との違いを感じやすい。	・本部と連携し、安定した体制での運営を目指して採用活動を進めていく。また、定期的な面談を実施することで職員の定着率向上を図ることも必要だと考えているため、職員間でのコミュニケーションもより密に取っていく。